

プログラム

8:45～9:15 幹事会

9:15～9:45 メンバー会議

9:45～9:50 開会式

9:50～10:56

主題Ⅰ 急性胆嚢炎に対する我々のアプローチ

司会：黒木 保（独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター）

倉内 宣明（JA北海道厚生連 倶知安厚生病院 外科）

I-1 Tokyo guidelines改訂を踏まえた急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術
森 泰寿（九州大学大学院 臨床・腫瘍外科）

I-2 急性胆嚢炎に対するPTGBD先行待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術の治療成績
村田 悠記（名古屋第二赤十字病院）

I-3 急性胆嚢炎に対する治療の現状
亀山 哲章（国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科）

I-4 急性胆嚢炎に対する単孔式腹腔鏡手術下胆嚢摘出術
高木 剛（西陣病院 外科）

I-5 抗血小板薬・抗凝固薬内服中の急性胆嚢炎症例に対する当院での対応
豊見山 健（沖縄赤十字病院 外科）

I-6 急性胆嚢炎に対する安全な早期腹腔鏡下胆嚢摘出術を目指したわれわれの工夫
浅井 浩司（東邦大学医療センター大橋病院 外科）

11:00～11:55

主題Ⅱ 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術 pit and fall

司会：渡邊 学（東邦大学医療センター 大橋病院 外科）

飯田 敦（独立行政法人 国立病院機構 敦賀医療センター）

Ⅱ-1 腹腔鏡下胆嚢摘出術後胆汁漏併発症例の検討 急性胆嚢炎腹腔鏡下手術のpitfallについて
大石 達郎（兵庫県立淡路医療センター）

Ⅱ-2 腹腔鏡下胆嚢摘出術において術中胆道造影にて異所性肝管を適切に処理した一例
小山 啓介（堺市立総合医療センター）

Ⅱ-3 胆嚢摘出困難例における胆嚢垂全摘時の新たな胆汁瘻防止法ー遊離大網充填法の有用性についてー

廣岡 智（関西医科大学附属病院 胆膵外科）

Ⅱ-4 Fundus first technique におけるPit and Fallについて、我々の経験から

生駒 久視（京都府立医科大学 消化器外科）

Ⅱ-5 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術 pit and fall

鈴木 憲次（富士宮市立病院 外科）

12：10～13：00

ランチョンセミナー

司会：徳村 弘実（独立行政法人労働者健康安全機構 東北ろうさい病院）

腹腔鏡下肝胆膵手術の標準化と教育ーいま考えていること

本田 五郎（新東京病院 外科）

（共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社）

13：20～14：24

一般演題（ポスターセッションA）

司会：安永 昌史（久留米大学 外科）

PA-01 急性胆嚢炎に対する内瘻化ドレナージ後の待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術に関する検討

藤本 大裕（帝京大学医学部附属溝口病院 外科）

PA-02 軽症胆嚢炎保存的加療後の至適手術時期の検討

新居 高（板橋中央総合病院）

PA-03 急性胆嚢炎に対して早期腹腔鏡下胆嚢摘出術を基本的治療方針としている当科の治療成績ーpropensity score matchingによる症例解析ー

森山 穂高（東邦大学医療センター大橋病院 外科）

PA-04 経皮経肝胆嚢ドレナージからの期間が腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績に与える影響

富丸 慶人（市立豊中病院 消化器外科）

PA-05 発症時期からPTGBD挿入までの時間と周術期因子の検討

吉田 拓人（聖路加国際病院）

PA-06 急性胆嚢炎に対する夜間緊急手術の検討

林 圭吾（聖路加国際病院 消化器・一般外科）

PA-07 当院における胃切除既往患者に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績
張野 誉史（市立豊中病院）

PA-08 腹腔鏡下胆嚢摘出術における「ひばり結び」を利用した頸部牽引法
岡本 辰哉（福岡徳洲会病院）

一般演題（ポスターセッションB）

司会：樋口 亮太（東京女子医科大学）

PB-01 当科における先天性胆道拡張症小児症例に対する腹腔鏡下手術の経験
小坂太一郎（長崎大学病院 小児外科）

PB-02 腹腔鏡下総胆管拡張症手術導入に向けて
田島 弘（北里大学医学部 一般・小児・肝胆膵外科）

PB-03 先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術の導入経験
木村健二郎（大阪市立大学大学院 腫瘍外科）

PB-04 急性胆嚢炎に合併した動脈瘤の2例
辺士名克彦（中頭病院 外科）

PB-05 腹腔鏡下胆嚢摘出後15日目に出血性ショックになった一例
友池 力（八尾徳洲会総合病院）

PB-06 胆嚢摘出後、胆嚢動脈仮性瘤による胆道出血を認めIVRを施行した一例
安里 昌哉（豊見城中央病院 外科）

PB-07 絞扼性胆嚢炎の一例
久下 恒明（日本医科大学千葉北総病院 外科）

PB-08 総胆管結石に対する腹腔鏡下胆管切石術において胆嚢管分岐異常を認めたため胆管切開とCチューブ留置に難渋した1例
高見 一弘（東北医科薬科大学病院 肝胆膵外科）

一般演題（ポスターセッションC）

司会：友利 寛文（那覇市立病院 消化器外科）

PC-01 次世代スコープホルダー【SOLOassist II】を用いた完全Solo Surgeryによる、単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術+C- tube留置術の4例
小林 敏樹（静岡市立静岡病院 外科）

- PC-02 早期胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢板胆摘術(LCPC)の導入
遠藤 裕一(大分大学 消化器・小児外科)
- PC-03 胆嚢腫瘍に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応
高舘 達之(東北大学 消化器外科)
- PC-04 悪性腫瘍との鑑別が困難であった炎症性偽腫瘍の一例
木原悠花梨(大阪大学医学部附属病院)
- PC-05 ICG蛍光色素法が胆管走行の確認に有用であった巨大肝嚢胞の1例
中山 剛一(久留米大学医学部外科学講座 肝胆膵部門)
- PC-06 ICG蛍光法を利用した肝内結石症に対する腹腔鏡下肝切除の1例
森 一洋(東京都立墨東病院 外科)
- PC-07 腹腔鏡下胆嚢摘出術における術中胆道造影の有用性
林 千紘(藤田医科大学 ばんだね病院 消化器外科)
- PC-08 総胆管結石採石術後に再発した総胆管結石に対して腹腔鏡下胆管十二指腸吻合した1例
佐治 雅史(新東京病院)

14:30 ~ 15:15

主題Ⅲ 総胆管結石に対する腹腔鏡下手術その現状と課題

司会：徳村 弘実(独立行政法人労働者健康安全機構 東北ろうさい病院)
梅澤 昭子(医療法人社団 あんしん会 四谷メディカルキューブ きずの小さな手術センター)

- Ⅲ-1 当院における総胆管結石に対する鏡視下手術の現状
浦上秀次郎(国立病院機構 東京医療センター 外科)
- Ⅲ-2 どうすれば、総胆管結石症の治療を外科のものにできるのか？
千野 佳秀(第一東和会病院 内視鏡外科センター)
- Ⅲ-3 腹腔鏡下胆管結石切石術の成績と課題
法水 信治(名古屋第二赤十字病院 一般消化器外科)
- Ⅲ-4 基本手技をふまえたLCBDEのpitfallの克服
松村 直樹(東北労災病院 内視鏡外科)

15：15～16：10

主題Ⅳ 先天性胆道拡張症、臍・胆管合流異常における腹腔鏡下手術

司会：内藤 剛（東北大学 消化器外科学）

中村 雅史（九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科）

Ⅳ-1 乳幼児細径胆管(5mm以下)空腸吻合に対する胆管形成と吻合の工夫

家入 里志（鹿児島大学学術研究院 医歯学域医学系小児外科学分野）

Ⅳ-2 先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術：晩期合併症と合併症を起こさない工夫

漆原 直人（静岡県立こども病院 小児外科）

Ⅳ-3 腹腔鏡下先天性胆道拡張症手術の導入；Swineウェットラボ胆道再建実習モデルにおける運針手技について

神田 知洋（日本医科大学付属病院 消化器外科）

Ⅳ-4 先天性胆管拡張症に対する腹腔鏡下肝外胆管切除術とその長期成績

森川 孝則（東北大学大学院 消化器外科学分野）

Ⅳ-5 総胆管拡張症、臍・胆管合流異常症に対する腹腔鏡下分流手術

武田 裕（関西労災病院 消化器外科）

16：15～17：27

主題Ⅴ これからの腹腔鏡下胆道手術

司会：中村 慶春（日本医科大学 外科）

堀口 明彦（藤田医科大学 医学部 消化器外科学/ぼんたね病院）

Ⅴ-1 当科における腹腔鏡下胆嚢板胆摘術の工夫

川野 陽一（日本医科大学千葉北総病院 外科）

Ⅴ-2 胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢床切除

足立 智彦（長崎大学病院 肝胆膵外科・肝移植外科）

Ⅴ-3 胆道癌に対する腹腔鏡下肝切除 —これまでとこれから—

中平 伸（堺市立総合医療センター 外科）

Ⅴ-4 腹腔鏡下胆膵手術における多自由度内視鏡外科手術鉗子の有用性と展望

田村 利尚（産業医科大学 第一外科）

Ⅴ-5 大学病院でのこれからの腹腔鏡下胆道手術

大塚 隆生（九州大学 臨床・腫瘍外科）

V-6 腹腔鏡下手術からロボット支援手術へ 拡大視効果をいかに胆道手術に取り入れるか？

永川 裕一（東京医科大学 消化器小児外科学分野）

17：40～18：30

イブニングセミナー

司会：若林 剛（上尾中央総合病院 消化器外科 肝胆膵疾患先進治療センター）

安全なラパコレとは？ -TG18ガイドライン作成委員から見たラパコレの未来像-

岩下 幸雄（大分大学医学部 消化器・小児外科学講座）

（共催：コヴィディエンジャパン株式会社）

18：30～18：35 閉会式

18：50～20：30 情報交換会